

# 教育だより

第163号

平成25年(2013年)4月26日

練馬区教育委員会

練馬区豊玉北6-12-1

☎3993-1111

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakkou/kyoikulink.html>

## 入学 おめでとう



平成25年4月8日(月)、区立小学校で入学式が行なわれ5,643人の新一年生が入学しました。また、9日には区立中学校の入学式が、10日には区立幼稚園の入園式が行われ、それぞれ4,895人の生徒と202人の園児が希望を胸に新生活をスタートさせました。

現在、区内の幼稚園・保育所・小学校において、幼児と児童との交流をはじめとする「幼保小連携」(幼稚園・保育所と小学校との連携)の取組が、地域の実情などに応じて行われています。また、教育委員会においても、乳幼児期から青年期に至るまでの子供に対する総合的で切れ目のない成長支援の一つとして、「幼保小連携」を重点的に推進しています。詳しくは、第3面をご覧ください。



【小学校の入学式の様子】

## 南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」が開館しました



平成25年4月23日(火)に乳幼児から小学校低学年までの子供たちとその保護者を主な対象とする南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」が開館しました。利用する子供たちや保護者が安心して読書や各種事業を楽しめる空間づくりを大切にするとともに、壁面緑化や太陽光発電を配備し、環境に配慮した施設としています。事業運営においても、おはなし会やブックスタート事業のほか、保育所が隣接している特長を生かし、乳幼児対象施設と連携した事業を実施します。

### 所蔵資料

図書：約17,500冊(絵本・紙芝居・児童文学 約16,000冊、一般書 約1,500冊)

新聞：2紙(児童向け) 雑誌：約15種(育児関係など)

※CD、ビデオなどの視聴覚資料は所蔵していません。

### 主な施設

絵本・紙芝居コーナー、おはなしのへや、授乳室、ベビーカー置場

### 利用方法

図書、雑誌を借りる方は利用登録が必要です。すでに区立図書館の利用カードをお持ちの方は、そのまま利用できます。初めて利用登録する方は、住所を確認できるもの(健康保険証、運転免許証、学生証など。小学生までのお子さんは不要)をお持ちの上、来館してください。本・雑誌・紙芝居は合わせて10点、布の絵本は2点まで3週間借りられます。



### 所在地

南大泉3-17-20

### 開館時間

〈平日〉  
午前9時～午後8時  
〈土・日・祝休日〉  
午前9時～午後7時

### 休館日

第1を除く月曜日、  
12月29日～1月4日、  
特別整理期間

【問合せ】南大泉図書館分室「こどもと本のひろば」〔電話 3925-4151〕



# 平成25年度の練馬区教育委員会教育目標を決定しました

## 【教育目標】

練馬区教育委員会は、「練馬区基本構想」で掲げる「ともに築き 未来へつなぐ 人とみどりが輝く わがまち練馬」の実現をめざし、次代を担う子供たちの健やかな成長を支援していきます。

学校教育にあつては、教育基本法の本質にのっとり、人間尊重の精神を基調とし、学校・家庭・地域社会との緊密な連携のもとに、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな子供の育成を図ります。

また、児童福祉にあつては、児童福祉法の本質にのっとり、子供の最善の利益を図ることを基調とし、子供自らの「育つ力」と家庭の「育てる力」を大切にしながら、地域社会との連携のもとに、心身ともに健やかな子供の育成を図ります。

「教育目標」を達成するため、総合的かつ一体的に、以下の基本方針に基づき施策を推進します。

- ① 人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成
- ② 豊かな個性と創造力の伸長
- ③ 家庭教育の支援と子供たちの健全育成の推進
- ④ 子供に対する一貫した成長支援
- ⑤ 自然環境の保全と文化遺産の保存・活用・継承

※教育目標の全文は、区ホームページでご覧いただけます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/mokuhyo.html>

【問合せ】 教育総務課 庶務係 [電話 5984-5609]

## 平成25年度の教育予算の概要をお知らせします

平成25年度の教育予算は739億5,689万円で、区予算全体の約31.9%を占めています。

この教育予算の中で、教育費では、学力の向上、豊かな心の育成および健康・体力の増進を図るための教育内容の充実や、安全安心な教育環境の整備などに取り組みます。

こども家庭費では、地域全体で子供を守り育てる仕組みづくりを進め、成長段階に応じた切れ目ない子育て・子育て支援施策を推進します。

## 平成25年度の主な事業

### 教育費

**(251億1,791万円)**

#### 区立小中学校の改築と安全対策の強化

**(29億5,599万円)**

学校施設の安全と安心を確保するため、既に行った耐震診断結果に基づき、谷原小学校の校舎等改築工事および開進第四中学校の校舎等改築設計を引き続き進めるとともに、新たに豊玉第二中学校の校舎等改築工事および下石神井小学校の校舎等改築設計に着手します。

また、体育館の天井材や照明器具などの非構造部材の耐震化に必要な安全点検を実施します。

#### (仮称) 学校教育支援センターの整備

**(6億8,576万円)**

現総合教育センターを発展的に改組し、教職員の研究・研修事業および教育相談事業を拡充するため、旧光が丘第二小学校を活用して(仮称)学校教育支援センターを整備します。

#### 緊急一斉メール連絡網の導入

**(407万円)**

大地震など緊急時の連絡手段を確保するために、区立の小中学校、幼稚園、学童クラブ、保育所の保護者を対象に、緊急一斉メール連絡網を導入します。

### こども家庭費

**(488億3,898万円)**

#### 保育所待機児童対策

**(10億9,686万円)**

都用地を活用して誘致する1園を含む私立認可保育所新設5園、改修改築2園について整備の補助を行うほか、認証保育所2園および新たな「グループ型家庭的保育事業」の開設にかかる経費の補助を行うことなどにより、保育所待機児童の解消を図ります。

#### (仮称)こどもほっとステーションの整備

**(3億8,118万円)**  
練馬駅北口区有地活用事業の1つとして、練馬子ども家庭支援センター分室のほか、認証保育所、病児・病後児保育施設および小児科を含めた診療所からなる子育ての拠点施設(仮称)こどもほっとステーションの整備を進めます。

#### 放課後や夏休みの居場所づくりの充実

**(1億6,936万円)**

学童クラブと各小学校の学校応援団「ひろば事業」との連携を強化するため、学童クラブの校内移設を進めます。平成25年度は、立野小学校に学童クラブ室とひろば室との合築施設を整備します。

また、夏休み中の子供たちの安全で安心な居場所となる「夏休みの居場所づくり」モデル事業を、3校に拡充します。

【問合せ】 教育総務課 庶務係 (電話 5984-5609)

# 幼稚園・保育所・小学校の関係者による協議を進めています!

教育委員会では幼稚園・保育所・小学校の関係者などで構成する「練馬区幼保小連携推進協議会」を設置し、活発な意見交換を行いながら協議を進めています。

平成24年度は、幼稚園・保育所・小学校の教員と保育士の連携の充実を図るための取組について協議を行いました。各委員からは、「まずは、取組を始めることが大事である」などの意見があり、平成25年度より教員・保育士を対象とした研修などの取組を実施することとしました。平成25年度以降も継続して、幼児と児童との交流をはじめ、幼児期から小学校の接続期におけるさまざまな課題について協議を進めていきます。

## さまざまな取組を実施しています!～幼児期から小学校の接続期を捉えて～

### 中新井幼稚園などの5歳児と中村西小学校の1年生が交流を行いました!

中村西小学校の体育館に5歳児と1年生が一堂に会して、「中西小クイズ」や「じゃんけんれっしゃゲーム」などを通して交流を行いました。たくさんのお兄さんやお姉さんと遊ぶ幼児の姿からは小学校に入学する期待感が感じられ、また、率先して幼児と交流する児童の姿からは4月から2年生に進級する自覚の高まりが感じられました。



「じゃんけんれっしゃ」の様子

### 豊玉保育園の5歳児が豊玉小学校を見学しました!



見学の様子

当日、校長先生が園児を笑顔で出迎え、「おはようございます!」という5歳児の元気なあいさつから、小学校見学が始まりました。校長先生の案内で、校舎内を見学し、音楽室では、幼児を前に児童たちが張り切って演奏を披露しました。園児たちは「かざってあった絵をみてすごいとおもった!」など、目を輝かせながら感想を話しており、小学校生活への期待感の高まりが感じられました。

今回、紹介した取組の他にも、区内の幼稚園・保育所・小学校では、地域の実情などに応じて、さまざまな取組が行われています。今後、特色のある取組を順次、お知らせしていきます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/yohosho/index.html>

【問合せ】 教育企画課 幼保小連携担当係〔電話 5984-1290〕 保育課 管理係〔電話 5984-5839〕

## 小中一貫教育を進めています



剣道の小中協力授業で中学生から竹刀の持ち方を教わる小学生（石神井南中・下石神井小グループ）

区では、小中一貫教育の実践や研究を進めています。平成25年4月からは新たに6組16校の小・中学校を研究グループに指定して、小中一貫教育の取組を推進します。

【問合せ】 新しい学校づくり担当係〔電話 5984-1034〕  
【ホームページアドレス】 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/ikkan/index.html>

### 25年度 小中一貫 教育研究 グループ

- ①豊玉中学校・豊玉小学校・豊玉南小学校
- ②中村中学校・中村小学校・中村西小学校
- ③開進第二中学校・南町小学校・向山小学校
- ④田柄中学校・田柄小学校・田柄第二小学校
- ⑤南が丘中学校・南が丘小学校
- ⑥大泉中学校・大泉小学校



# 区立中学校1・2年生が被災地へ体験学習に行きました

## 1日目

### 区役所を出発



出発前に河口教育長から激励の言葉をいただきました



巨理町へは区役所からバス2台で出発しました

平成25年3月27日から28日までの1泊2日で、区立中学校1・2年生80名が、宮城県巨理町で「被災地体験学習」を行いました。

この事業は、東日本大震災から2年が経過する中、被災や復興の状況などを子供たちが体験することにより、震災の歴史を継承させるとともに災害時の自らの役割を考える機会とするため区立中学校1・2年生を対象に、巨理町の協力をいただき、練馬区教育委員会が実施したものです。

事前の募集では80名の定員に対して241名もの多数の生徒からの応募があり、生徒たちの関心の高さ、学ぶ意欲を感じることができました。

ここでは、体験学習の内容やその様子をご紹介します。

なお、今後「被災地体験学習」の報告書を作成し、全区立小・中学校等に配付する予定です。



## 巨理町ってどんなところ?

宮城県の南東部に位置し、阿武隈川と太平洋に面した町。総面積73.21平方キロメートルで、その約48%が東日本大震災で浸水し、主要産業であるいちごも約95%のハウスが流された。



## 巨理町へ到着・荒浜中学校の先生方からお話を聴きました

途中のサービスエリアで休憩を取りながら、約6時間かけて巨理町へ到着しました。

巨理町では、まず巨理駅前にある悠里館(巨理町立郷土資料館)というお城のような建物の中で、巨理町の教育長をはじめとする教育委員会の方々が出迎えてくださいました。

教育長のご挨拶のあと、荒浜中学校の先生方が地震直後の当時の状況や子供たちの様子などを話してくださいました。

先生方の適切な指導や地域全体の声掛けなどにより、巨理町では震災で亡くなった子供はいませんでした。海岸に近い荒浜中学校などは津波による被害が甚大で、校舎一部部分が壊滅してしまうぐらいのものでした。

荒浜中は津波による浸水などで避難所としての運営ができない状態でしたが、避難した方々は他の避難所に移ることができるまでの2~3日の間は校舎の3階部分で生活していたそうです。その時に一番大変だったのが、「飲み水」と「トイレ」をどうするかということでした。飲み水は校舎屋上にあった高架水槽から皆で協力してバケツで運び、トイレは一階にある瓦礫をどかして場所を作り、校庭に溜まった海水を利用して流したそうです。そのほか学校にあった段ボールを敷いたりするなど、身近にあるものをいかに利用するかを考えておくことも重要だとおっしゃっていました。

地震から2日後に荒浜中に避難していた方々は全員救助され、その後先生方は各避難所を回り、全ての生徒の名前を探したそうです。全員無事に見つかったときは涙が出るほど嬉しかったとおっしゃっていました。また、避難所の生活では、中学生たちが小学生や幼児の面倒をよく見ていたとお話も聞け、練馬区の生徒たちにも自分たちができると考える良い機会になりました。

先生方のお話のあと、質疑の中で荒浜中の校長先生がおっしゃっていたことがとても印象的でした。「我々は地域に救われた。大事なものは心のつながり。絆が人を思いやる気持ちを育て、心の癒しとなる。みなさんは心がつながっていますか。どうぞつないでください。」



巨理駅前のお城のような悠里館



荒浜中の先生は、画像を使って丁寧に説明してくれました

## 2日目

### 荒浜小・荒浜中・長瀬小を見学



【荒浜小】既に校舎は改修が完了していました



【長瀬小】建て替えのため校舎が取り壊されていました

2日目はまず津波被災した荒浜小学校、荒浜中学校、長瀬小学校の3校を見学させていただきました。見学には巨理町教育委員会の学務課長が同行して、各場所で説明をしてくださいました。

この3校は一時避難所として避難者が多数いましたが、その後順次救出して別の避難所に移らざるを得ないくらいの津波被害を受けました。資料のひとつとして当時の被災状況の写真も配布されましたが、1階の教室の中は壊れてなぎ倒された机や泥などで埋められ、校庭は水没したり瓦礫で埋まっていたりと、各校の凄まじい被害状況を物語っていました。

当時のそのような状況の中、この3校については他の学校に間借りをして学校再開することを決め、各避難所にばらばらに避難していた児童生徒とその保護者についてはそれぞれ学校近くの避難所に移動していただき、やっとの思いで平成23年4月25日に全学校再開したとのことでした。

それぞれの学校を見学した時、荒浜小は校舎改修が完了、荒浜中は校舎改築の途中で更地になっている状態、長瀬小は学校敷地内の別の場所に校舎を移築するために旧校舎の取り壊しを行っている状態でした。荒浜中ではプールだけが被災した状態のまま残っていて、その時計は津波が到来した時刻のまま止まっていた。

生徒たちは、実際に被害にあった学校を訪れたことにより、津波の脅威だけでなく、「復興」という未来に向けての着実な歩みも間近で感じ取ることができたことと思います。



【荒浜中】校舎は建て替えのため既に更地になり、プールだけが当時のまま残っていました



プールの時計は津波が到来した時間のまま止まっていました

## 災害廃棄物処理施設を見学

悠里館を出て、災害で発生した瓦礫などを処理する巨理災害廃棄物処理施設を見学しました。この施設では、震災で大量に発生した廃棄物を選別し、焼却や破砕などその種類に応じた処理をしています。大気・水質などや放射性物質のモニタリングなどの管理も行われ、なかでも働いている方たちの安全を確保するための津波避難施設が設置されているのが特徴的でした。生徒たちは、津波が来ても十分に回避できる高さがある避難場所に実際に上り、その高さや備蓄倉庫を見て感心した様子でした。

また、施設の方の説明を聞き、被災状況だけでなく、復興に向かっていくためにはこのような災害廃棄物の処理なども重要であることを勉強しました。



災害で発生した瓦礫等を処理する災害廃棄物処理施設



施設内で説明してもらいました

## 巨理町被災者支援課の職員の方にお話を聴きました

宿舎に着いて夕食を取った後、巨理町被災者支援課仮設住宅班の職員の方2名が仮設住宅に関する様々なこととお話ししに来てくださいました。仮設住宅班は被災者の方々の仮設住宅への入退去などに関わる仕事をしている部署ですが、お一人はご自分も仮設住宅にお住まいになっているとのことでした。

巨理町では平成25年2月末で未だ880戸、2,609人の方が仮設住宅にお住まいになっているそうです。仮設住宅での生活が長期化してきたことにより、物を置くスペースがなくなって部屋の追加を希望する人が増えたり、住宅再建をして退去していく方と再建が難しく今後も仮設住宅での暮らしが継続する方とでメンタル面で差が出たりしているとのことでした。

そんななかでも仮設住宅の集会所の職員と社会福祉協議会の生活支援相談員で一人暮らしのお年寄りの方の声掛けを毎日行ったり、集会所で役場やボランティアなどによるイベントが行われたりと、住民の皆さんの生活や気持ちを癒す活動が行われていることを聞き、生徒たちは改めて人と人のつながりの大切さを教わることができました。



被災者支援課住宅班のお二人

## 仮設住宅を見学

巨理町に5か所ある仮設住宅の中から巨理駅北東にある公共ゾーン仮設住宅を見学させていただきました。生徒たちは1日目に仮設住宅班の方からお話を聴いていたので、色々な意識を持ちながら見学ができたことと思います。



現地の仮設住宅の様子

## 区役所に到着・参加生徒の感想

生徒たちは巨理町で昼食を取った後、バスでの長い旅を終え、区役所に到着しました。

最後に、生徒代表が今回の被災地体験学習を終え、つぎのような感想を発表してくれました。

「巨理町の皆さんが地震や津波そして身近な大切な人の死などの大きな困難を乗り越えて生きてこれたのは、強い絆があったからこそです。今後は、私が今持っている絆、新しくできた絆、そしてこれから出会う未来の絆を大切にできる人に私はなりたいです。」

生徒達は被災や復興の状況などを現地で学習したことにより貴重な体験になったことと思います。



【問合せ】教育総務課 庶務係 [電話 5984-5609]



# 児童館中高生の居場所づくり事業

現在8館（中村・土支田・平和台・南田中・春日町・石神井台・光が丘・上石神井）で週2回（光が丘・上石神井は月～土）午後5時から実施しています。午後6時までは小学生と一緒に児童館で過ごし、午後6時から7時までは中高生の専用時間になっています。

## バンド！ダンス！お菓子づくり！着物の着付けもできます！

各館には、ギター・ドラム等の楽器もあり自由に使うことができます。中高生がやりたいことを自分たちで企画し実施しており、友達同士でバンドを組んだり、ダンスの練習やアクセサリを作ったり、ネイルアートを楽しんだり、また、友達同士や児童館職員との何気ないおしゃべりなど、中高生が思い思いの時間を自由に過ごしています。

中高生事業には愛称があり、中村児童館は「なかなかTIME」、土支田児童館は「D（ディー）スペース」、平和台児童館は「3（スリー）★ピース」、石神井台児童館は「YY（ワイワイ）サイト石神井台」などです。区では、練馬区長期計画に基づき、今後も実施館を増やしていく予定です。



浴衣の着付けの様子(中村児童館)



ダンス練習(平和台児童館)



サマーライブの様子(平和台児童館)



【問合せ】子育て支援課 子ども育成係〔電話 5984-5827〕

## 第16回ねりまの児童館展 ～あそぼう！みんなの児童館～



平成25年1月26日（土）・27日（日）に「第16回 ねりまの児童館展」が開催されました。会場には、手作りかるたや点字新聞等を利用したりサイクル工作、ビーズや粘土を材料としてつくられた作品などバラエティ豊かな作品を展示しました。また、実際に展示作品であそぶ体験ができることも同展の特長です。

会場では、「じどうかんだより」を配布しており、児童館の情報を得られるとともに、また、各児童館の活動を垣間見られる絶好の機会にもなっています。



【問合せ】子育て支援課 子ども育成係〔電話 5984-5827〕

## 学校ビオトープを活用した教育活動の紹介



校庭などに作られた人工的な水辺等を学校ビオトープと呼び、それ自体が生き物の生息空間になっており、環境教育のほか様々な授業の中で活用されています。

### 富士見台小学校

富士見台小学校では、ビオトープの活用を全学年の学習に位置づけ、中心的な学習になっています。

### 富士見台小学校の環境教育のねらい

富士見台小学校の特色ある教育活動の一つとして、環境に対しての「感受性」「見方・考え方」「実践力」を育むことを目指して、「環境教育」に取り組んでいます。ビオトープでの学習を通して自然と触れ合うことにより「カエルの卵からおたまじゃくしになっているね」「ヤゴが羽化するように水面からの高さのある植物がもっと必要かな」と季節による自然の変化を感じた子供たちの声も聞こえ、子供たちの情操面の成長および環境保全という実践面の意識の向上にもつながっています。



校内の水辺・水田等のビオトープでは、水辺の様々な生き物を観察できます。子供たちはビオトープ周辺に生息する生き物に触れることで、環境保全について考える力を育みます。



また、6年生は、ビオトープの樹木・植物・生き物など、富士見台小の自然について各自が課題（テーマ）を見つけ、全校で紹介しています。

【問合せ】教育総務課 庶務係〔電話 5984-5609〕

# 平成25年度練馬区青少年育成活動方針を策定しました

区では青少年育成活動方針に基づいて、地域ぐるみで、青少年の健全な育成を図っています。平成25年度の練馬区青少年育成活動方針では、以下の目標を示しています。



【問合せ】  
青少年課 青少年係〔電話 5984-4691〕

## 目標

- 1 心のかよう明るい家庭づくりを進めよう
- 2 青少年の社会参加の機会を増やそう
- 3 健全で安全な社会環境づくりを進めよう
- 4 家庭・学校・地域・関係機関の連携を推進し、強化しよう

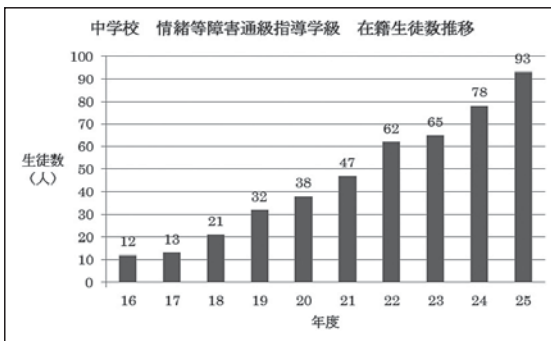
## 中学校に 情緒障害等通級指導学級 を開設しました

近年、情緒障害等通級指導学級に在籍する児童生徒数は増加傾向にあります。練馬区では特別支援学級を地域にバランスよく配置するため、計画的に増設を進めています。本年度は、光が丘第四中学校に情緒障害等通級指導学級を開設しました。

### 学級の愛称 よつば学級

今回の開設で、中学校の情緒障害等通級指導学級は4校となりました。

- 中学校情緒障害等通級指導学級の年度別状況 (各年5月1日現在 ※25年度は4月7日現在)



【問合せ】学務課 就学相談係〔電話 5984-5664〕

## 参加者募集 全10日間 中学生のための情報番組制作 ワークショップ

最新の施設・設備を使って、自分達の力で、企画から取材・編集・スタジオ収録を行い、テレビ情報番組を制作します。あなたも体験してみませんか？

- 日時：平成25年6月29日(土)  
午後1時30分～午後3時(オリエンテーション)  
以降、土曜日と夏休みの午後の9日間を予定しています。
- 場所：日本大学藝術学部江古田校舎
- 講師：日本大学藝術学部放送学科主任教授  
鈴木 康弘 先生
- 定員：20名(応募者多数の場合は、抽選)
- 参加費：200円(保険料)



☆詳しくは、6月1日号区報および区ホームページなどでご案内します!

【問合せ】青少年課 育成支援係〔電話 5984-1292〕

## 教育委員会の動き (平成25年1月～3月)

平成25年1月から3月までの教育委員会は、定例会6回を開催いたしました。主な議案、協議等は下記のとおりです。詳細な案件につきましては区ホームページもしくは下記【問合せ】にてご確認ください。

### 議案

- ・平成25年度練馬区教育委員会教育目標の制定について
- ・平成25年度教育関係当初予算案について
- ・平成24年度教育に関する事務の管理および執行の状況の点検・評価(平成23年度分)報告書について
- ・練馬区教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 (他17件)

### 協議

- ・平成24年度教育に関する事務の管理等に係る点検・評価について
- ・平成25年度練馬区教育委員会教育目標について
- ・平成24年度卒業式お祝いの言葉について

### ～教育委員会は傍聴できます～

教育委員会では、教育行政全般について、審議・決定しています。開催日、議題およびこれまでに開催した会議の詳しい内容については、区ホームページに掲載しています。会議はどなたでも傍聴できます。傍聴を希望する方は、開催場所を確認の上、開催当日に手続をしてください。なお、傍聴の受付は会議開始時間の30分前から始め、傍聴者が18名に達した時点(原則として先着順)で締め切らせていただきます。

【ホームページアドレス】<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikuiinkai/index.html>

【問合せ】教育総務課 庶務係〔電話5984-5609〕



# 学校応援団の紹介 No.7

地域の方が中心となって、放課後の児童の遊び場の確保・異年齢児の交流・読書の推進を図る組織「学校応援団」。シリーズ第7弾は同じ小学校に通う子供たちが一緒に遊んでいる様子を通じて2つの学校応援団取材して紹介します。



## 大泉第三小学校応援団 ゲームまつり



どのお店も行列ができる大人気店です

大泉第三小学校では校舎内にひろば室「ぎんなんひろば」があります。そのひろばのとなりには大泉第三小学童クラブがあり、放課後は校庭などで一緒に遊んでいます。

先日、「学童クラブの子供たちがお店を開くので遊びにきませんか〜？」とイベントのお誘いがありました。学童クラブの子供たちが自分たちで考えてコリントゲームや、ボーリング、ひもくじなど手作りのゲームのお店をたくさん出してくれました。店員さんとお客さんと体験して、どの子供もとっても楽しく過ごしていました。



高得点がGETできるかな？



## 練馬東小学校応援団 サッカーイベント



しょうずにあたるかな〜？

練馬東小学校応援団では春日町児童館、練馬東小学童クラブと合同で練馬東小学校の校庭でプロサッカークラブ「東京ヴェルディ」をお招きしてミニサッカーゲームでヴェルディ君に挑戦したり、キックターゲットをしたり楽しみました。

当日は、校庭で大人の人を見かける度「ヴェルディの人？」と聞く子がいたりとても楽しみにしている様子でした。実際に始めると強い風にも負けず走り回り、最後はヴェルディ君とじゃんけん大会をして大盛況で終わりました。



いろいろなお友達とチームをつくりました

【問合せ】子育て支援課 学校応援団・開放係〔電話 5984-1057〕

# 青少年育成地区委員会の紹介

区内には17の地区委員会があり、青少年育成地区委員が子供たちのために地域の特色を生かした行事や環境浄化活動を行っています。今回は、第四地区委員会のこどもフェスティバル事業について紹介します。

毎年9月第3日曜日に東京都が指定する地域青少年健全育成支援事業の「あいさつ運動」として開催しています。地区内の練馬、練馬東、田柄第二、高松、春日の五つの小学校から5・6年生が「こども実行委員」となり、やきそば、わたあめ等の「たべものコーナー」、まとあて、わなげ等「あそびのコーナー」を企画・運営します。こども実行委員は元気よく挨拶し、参加した子供たちは、秋の1日を楽しんでいます。



平成24年度の様子

【問合せ】青少年課 青少年係〔電話 5984-4691〕

# アニメ産業と教育の連携事業が経済産業大臣賞および大賞を受賞!



平成25年2月に、企業や団体などの優れた教育支援活動を表彰する経済産業省主催の第3回キャリア教育アワードが開催され、練馬区の「アニメ産業と教育の連携事業」が最優秀賞の経済産業大臣賞と大賞を受賞しました。この事業は、子供たちに地域産業への理解を深めてもらうため平成21年度から開始した取り組みです。区とアニメ関連企業で組織する「練馬アニメーション協議会」が協力し、区内の小中学校にプロのアニメーターなどが講師として出向き、アニメ制作体験などの授業を行っています。今回の受賞は、延べ32校での実施実績と、優れた技術や制作にかける思いを伝える教育プログラムが高い評価を受けたものです。また、文部科学省・経済産業省主催の「キャリア教育推進連携表彰」で奨励賞を受賞しました。

※本事業のこれまでの取り組みは以下のホームページからご覧いただけます。

【練馬アニメーションサイト内】 <http://www.animation-nerima.jp/cooperation.html>  
 【問合せ】 教育指導課 指導主事〔電話 5984-5759〕  
 商工観光課 アニメ産業振興係 5984-1276